

# 議場でひとこと ご意見を検討しました

昨年12月に開催した「議場でひとこと」で町民の皆さんからいただいたご意見を各委員会でまとめました。

## 公共交通を継続調査

**Q.** 音更高校への登下校のバスの本数を増やしてほしい。特に帯広一中校区から来る生徒がとても不便。

**A.** 町とともに事業者に対して継続的に働きかけていく。

**Q.** 音更高校は築後30

年経っていて、とても寒いので、補助暖房などの対策を北海道に対して働きかけてほしい。

**A.** 町を通じて北海道に働きかけていく。

**Q.** 音更高校発着で、登下校にサンドーム、文化センター、図書館に止まるコミュニティバスを走らせてほしい。

**A.** 継続的に協議をしながら、町に働きかけていく。

**Q.** 高校の学校行事や野球の全校応援などに町のスクールバスの活用を。

**A.** スクールバスの活用は、現状の課題を整理しつつ、継続的に審議する。

## 学生への補助を拡充

**Q.** 帯広大谷短期大学への補助金又は学生に向けた更なる支援策を現時点で具体的に考えているか。

**A.** 町は令和6年度予算において補助の拡充を行っている。今後、

短大生と意見交換の場を持ち協議をしていく。

**Q.** 町と町民、そこに短大や高校が関わることで更にまちの活性化につながるのでは。

**A.** 学生や生徒が積極的に関わることで、魅力あるまちづくりにつながる。今後、学生や生徒の意見を聞き、協議していく。

**Q.** 昨年から始まった町道の改修で現状の設備より後退する改修が行われており不便にな



議員さんからの質問が飛び交う(議場でひとこと)

った。

**A.** 道路整備後においても機能や利便性が損なわれないように、町へ要請する。

## 町も調査研究

**Q.** 加齢等により耳の聞こえが悪くなり、困っている人が多い。しかし補聴器は高額であり町が助成することで喜ぶ人が多いのでは。

**A.** 一定数の要望があると認識している。町も調査研究しており、

協議していく。

**Q.** 音更町は、町内会で防犯灯の管理をしているが、町内会は加入者も減り弱体化している。町での管理を検討する考えは。

**A.** 町内会防犯灯維持交付金として原則4月の電気料をベースに1年分の補助を行って管理は考えていない。

## 編集後記

3月は卒業シーズンであり、高校の合格発表もあり、涙と笑顔が交差する季節です。

議会にとっても3月は定例会のほか、次年度の予算を審査し議決をする、とても重要な月です。予算の審査は5日間行われ、各委員(議員)が町に対し真剣勝負で質疑を行い、今回の審査では170件にも及ぶ質疑をしました。各議員は、一般質問や日々の議員活動の成果がしっかりと予算に反映されていることが確認でき、これからも町の発展のために尽力することを決意しています。

いつも、議会だよりの発行に縁の下の力持ちとして支えていただいた職員が異動となり、私も各委員も大変に寂しい思いになります。この場を借りて心から御礼を申し上げます。ありがとうございます。ありがとうございました!

編集委員 小澤直輝

「議会だより」について  
ご意見をお寄せください

Tel 0155-42-2111

Fax 0155-42-3575

E-mail gikaisoumuka@town.otofuke.hokkaido.jp

